

食料産業局長賞

青森トレーディング 株式会社 (青森県弘前市)

りんご
りんご加工品

・香港
・台湾
・タイ

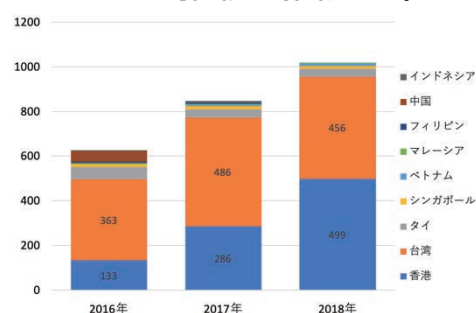
クールジャパン戦略で青森産りんごの認知度を高める

取り組み内容

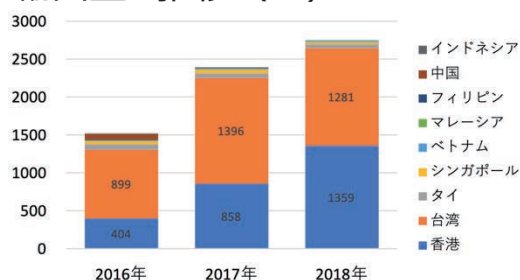
- 青森トレーディング株式会社は、青森りんごの海外市場開拓のため、りんご産業に関係する13の企業・団体によって設立。
- 当社設立前のりんご産業は、来訪したバイヤーの買い付けに対応する受け身のビジネスだったが、積極的に海外に売り出すモデルへと転換。それまでは輸出額の9割を台湾が占めていたが、地道な活動によって昨年は香港との取引額が台湾を上回った。
- サンリオアジアとライセンス契約を結び、アジアで知名度の高いハローキティのキャラクターをパッケージに起用。手にとってもらい工夫を施し認知度の向上を目指している。

輸出実績の推移

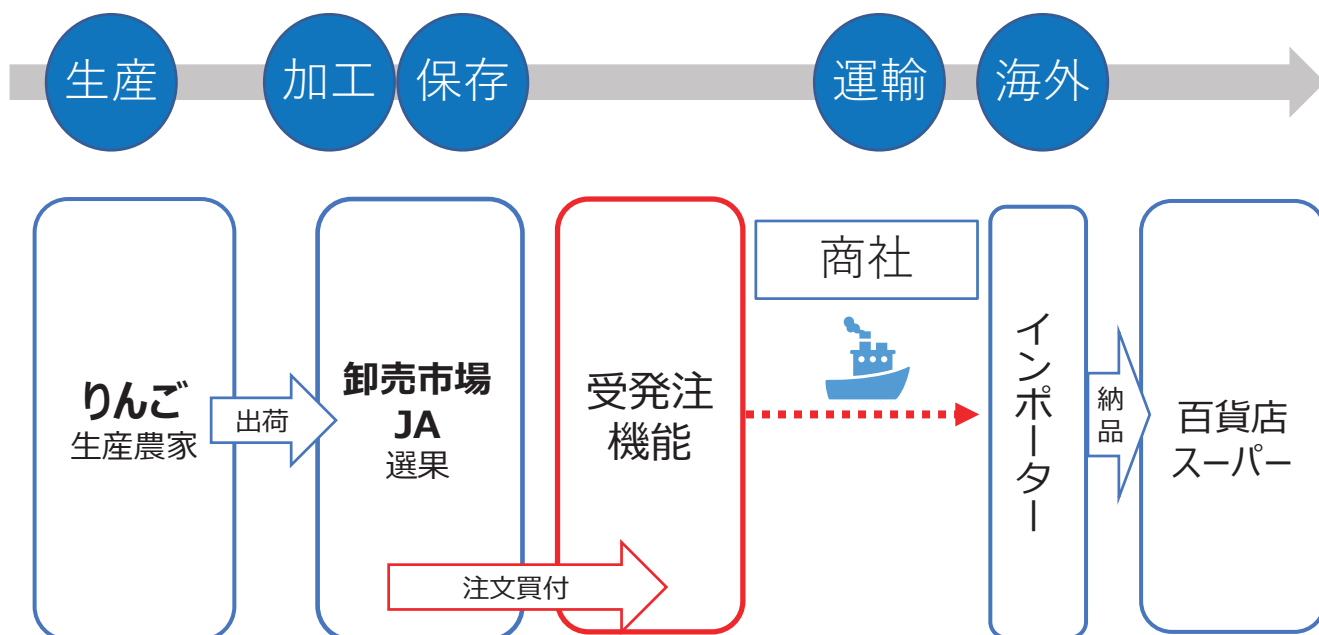
輸出金額の推移（百万円）



輸出量の推移（t）



輸出の仕組みチャート



輸出に取り組んだ背景

- 青森トレーディング株式会社は、青森りんご産業に関係する13社が集まり、青森りんご産業の維持発展を目的とした輸出業務を専門に行う会社として設立された。
- 青森りんごの輸出は2万トン超が定着しつつあったが、その輸出先の9割を台湾が占めていたため、海外市場開拓を目指した。

課題と解決のポイント

👍 巨大な海外りんごマーケット

りんごは世界中で生産され世界のあらゆる国で食されているため市場はとても大きい、競合も多い。

ジャパンブランドの評価は高いものの、海外マーケットでの訴求力をさらに強めるためにハローキティの認知度を生かし、包装資材に取り入れた。商品を知らない人の手に取るきっかけとなった。

👍 カントリーリスク

当社設立前、輸出先の9割は台湾であった。2011年の震災の風評被害などで一時的に売り上げが半分以下に落ち込んでしまった。

会社の最も大きなミッションが第二の大口輸出国の開拓。地道な営業活動によって香港やタイ、シンガポールなど新しい国との定期的な取引を開始し、輸出額も年々増加している。

👍 産地登録

次の大型取引先として有力なベトナムやインド、アメリカ、カナダなどは園地登録が必要。園地登録には時間と手間がかかり、物理的に対応できない状態。

生産者に対して負担の少ない園地登録の方法や青森独自の仕組みの構築を模索するなど、引き続き検疫所やりんご産業を支える関係各所への協力依頼を行っていく。



サイズ別の商品展開



梱包資材にもキャラクター



小玉6つ入パッケージ



輸出業務経験のあるスタッフを採用

今後の展望

- りんごは保存性に優れ一年中輸出が可能。関係商社とは取引機会の多い中、りんご以外の商品の取り扱いを増やすことで、さらなる信頼関係構築を目指している。
- りんご自体は世界中の誰もが知っているが、青森産の良さや特徴を知ってもらう必要がある。青森産のりんごの魅力を効果的に訴求するプロモーション活動にさらに力を入れる。
- ベトナムやインドなど産地登録が必要な国に対してのリスクの少ない対策を行う。生産者には登録にかかるコストを理解してもらいつつ、関係各所との協力体制をさらに強固にし、さらなる輸出国の拡大へ取り組む。